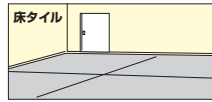


ボブテックスフローアの施工方法とメンテナンス

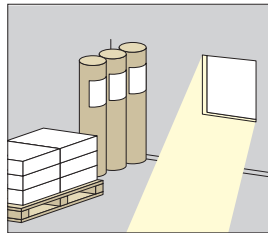
施工について

1. 下地の点検 ① 平滑さ ② 乾燥 ③ 強度 ④ 汚れ を点検します。



2. 割り付け・墨出し

●施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。



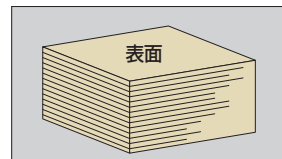
3. 材料保管

- 材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。
- ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
- ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。



4. 材料確認

●品番・ロット番号・数量を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。



5. 養生

●10℃以上に保たれた室内の平滑な場所で**タイルを箱から取り出して**、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

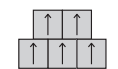
6. 貼り付け・目違い・修正・圧着

- 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出しし、部屋を4区分します。出入口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
- 基準線に沿って基準タイルを施工します。
- 施工はピラミッド工法(図1)のようにすすめてください。
- 製品によって流し貼り又は市松貼りにて貼ってください。

1625 Nebula SERIES



流し貼り



流し貼り(ウマ貼り)

1621 Grid SERIES

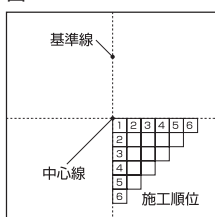


市松貼り



流し貼り(ウマ貼り)

図1



- 目違い修正は、圧着する前に全て完了させてください。
- 接着可能時間内に75kg以上のローラーなどでよく圧着します。
- 接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
- 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。
- 接着剤は、ピールアップ接着剤(アクリル樹脂系エマルジョン形)をご使用ください。

二重床(OA下地)に施工する場合の注意

- 下地パネルの段差は1mm以内、隙間は2mm以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。
- 15℃以上の室温になじませてから施工してください。タイルと室温に温度差があると施工後突き上げ、目地隙を引き起こす原因になります。
- タイルのつめすぎは、施工後突き上げの原因になります。
- 図2のように下地パネルの目地をまたぐように、1/2ずらして割り付けしてください。これは、下地の不陸が表面に現れにくくと同時に水などをこぼした場合に、直接パネル下に落ちるのを防ぐためです。

図2

